

「ひろしま社会医学系専門医研修プログラム」の4つの特色 (県・広島市・広島大学連携事業)

* 県及び広島市での採用が前提

1 産官学の連携

⇒マツダ等、産業界とも連携

2 広島独自の施設が参加

⇒ひろしまCDC、児相、放影研等

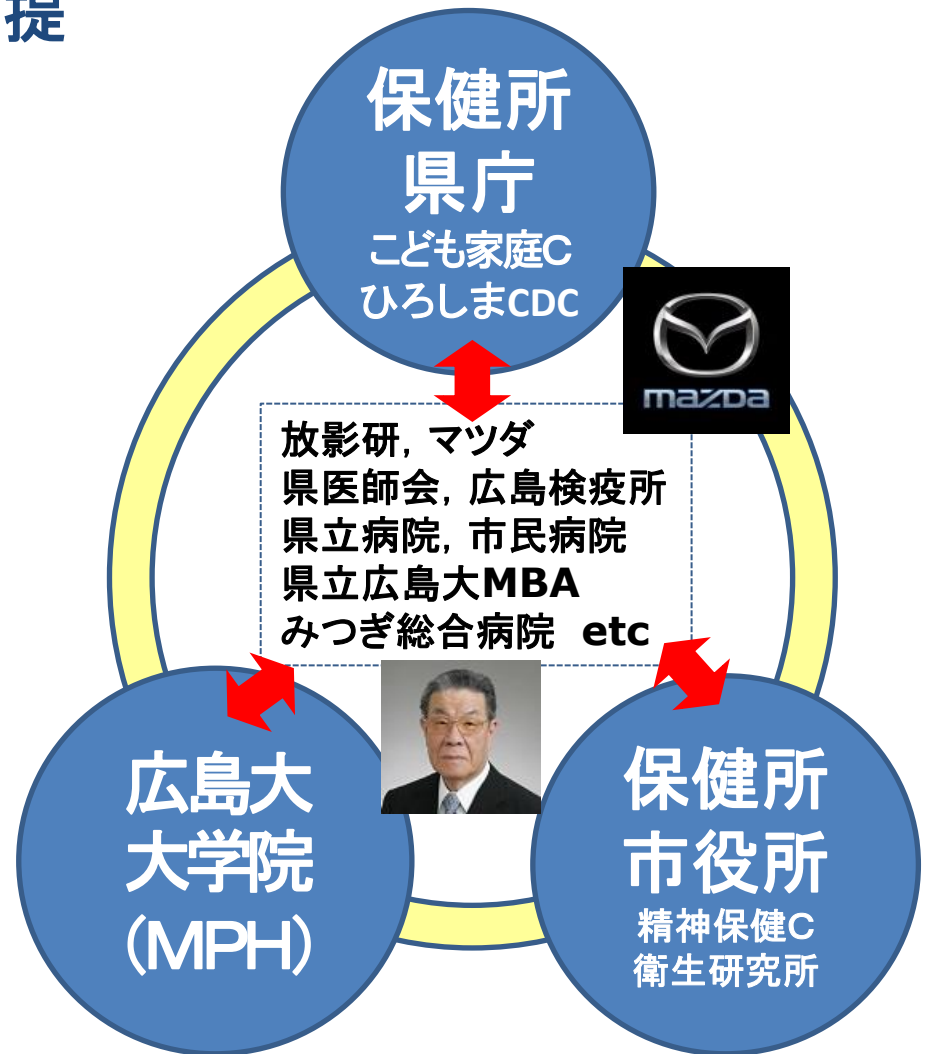
3 修士号の取得

⇒広大大学院

公衆衛生学修士(MPH)を取得
県立広島大ビジネススクールも参画

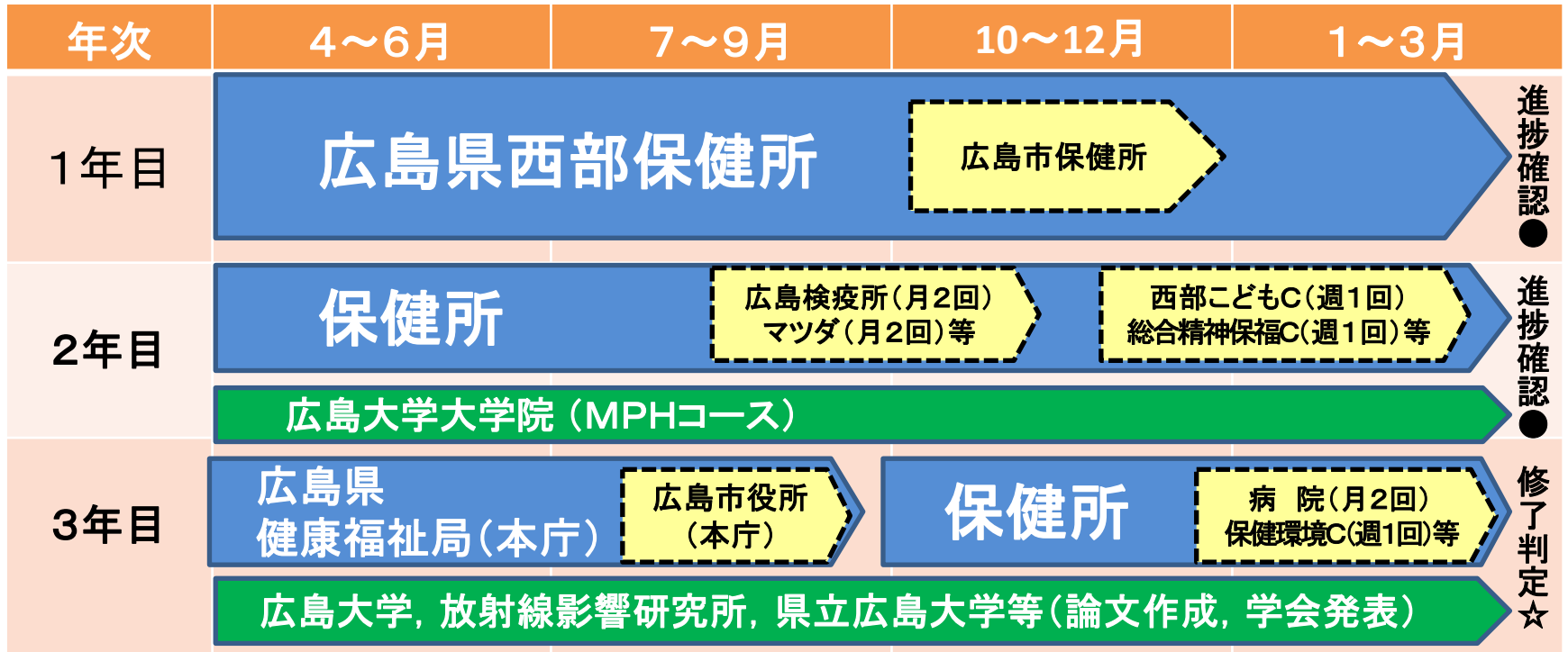
4 幅広い研修分野

⇒児童福祉, 地域包括ケアから,
経営管理まで幅広い分野を選択可



「ひろしま社会医学系専門医研修プログラム」履修イメージ

- 県又は市の職員として採用し、保健所を主たる現場として3年間実践。
- 研修2年目は、公衆衛生学(MPH)コースを受講し、専門知識を習得。
- 研修3年目は、研究・教育機関で指導を受けながら、修了論文を作成。



【主な指導医等】

- ・広島大学大学院疫学・疾病制御学 教授 田中純子
- ・放射線影響研究所 主席研究員 児玉和紀
- ・県立広島大学大学院経営管理研究科 教授 西田在賢

